

【成果情報名】オーチャードグラスの県奨励品種候補「まきばゆうか」の特性

【要約】 極早生品種のオーチャードグラス「まきばゆうか」は、現奨励品種「アキミドリⅡ」よりも収量が多く、越夏性に優れる。

【担当】 山梨県畜産酪農技術センター・草地環境科・遠藤美杉

【分類】 技術・普及

【課題の要請元】

畜産課

【背景・ねらい】

オーチャードグラスは本県の基幹牧草である。県奨励品種として「アキミドリⅡ」が指定されているが、平成 27 年度に県奨励品種として指定されて以降、8 年が経過している。近年、新しい品種が育成されていることから、これら新品種の性能評価を行い、県内の気象条件等に適した優良品種を選定する。

【成果の内容・特徴】

1. 畜産酪農技術センター長坂支所（北杜市長坂町 標高 700m）における、極早生品種「まきばゆうか」の出穂始めは「アキミドリⅡ」よりも 2 日遅い（表 1）。
2. 「まきばゆうか」の越夏性は「アキミドリⅡ」よりやや優れる（表 1）。
3. 「まきばゆうか」の倒伏程度は「アキミドリⅡ」と同程度であり、秋の病害は「アキミドリⅡ」と比較して少ない（表 2）。
4. 「まきばゆうか」の 3 年間合計乾物収量は「アキミドリⅡ」比で 103 とやや多収であり、特に 2 番草、3 番草の乾物収量が高い（表 3、表 4）。

【成果の活用上の留意点】

1. 栽培適地は、中間地～高冷地で、採草利用に適している。
2. 枯死を防ぐため、越夏前は高刈りとし、盛夏期の利用を控える。

【期待される効果】

1. 本県で「まきばゆうか」を利用することにより、自給飼料の増産が図られる。
2. 今後、所定の手続きを取り、県奨励品種として指定される見込みである。

[具体的データ]

表1 生育特性 (3年間: 2021~2023年)

品種名	出穂始め	越冬性 ¹⁾	越夏性 ¹⁾	秋の草勢 ¹⁾	秋の被度 ²⁾
まきばゆうか	4月23日	6.1	7.7	4.9	99.3
アキミドリII	4月21日	5.9	7.0	4.8	99.0

1)1:極不良~9:極良

2)2023年の値

表2 倒伏程度と病害 (3年間: 2021~2023年)

品種名	倒伏程度 ³⁾			葉枯性病害 ³⁾		
	1番草	2番草	3番草	1番草	2番草	3番草
まきばゆうか	1.0	1.2	1.0	1.3	4.9	3.0 ^a
アキミドリII	1.0	1.3	1.0	1.3	5.1	3.9 ^b

3)1:無~9:甚または極多

縦列の異符号間で有意差あり (a,b: $p < 0.05$ Tukey法による多重検定)

刈取及び調査時期 1番草: 4月下旬 2番草: 7月下旬 3番草: 10月下旬

表3 収量性 (3年間: 2021~2023年)

品種名	乾物収量 (kg/a)				アキミドリII比
	1年目	2年目	3年目	3年間合計	
まきばゆうか	154.0	118.8	122.5	395.3	(103)
アキミドリII	155.3	110.6	116.5	382.4	(100)

表4 番草別の乾物収量 (3年間: 2021~2023年)

品種名	乾物収量 (kg/a)		
	1番草	2番草	3番草
まきばゆうか	134.5 (98)	154.4 ^a (106)	106.3 (107)
アキミドリII	137.7 (100)	145.1 ^b (100)	99.5 (100)

()はアキミドリII比

縦列の異符号間で有意差あり (a,b: $p < 0.05$ Tukey法による多重検定)

刈取及び調査時期 1番草: 4月下旬 2番草: 7月下旬 3番草: 10月下旬

[その他]

研究課題名: 飼料作物優良品種選定普及促進事業

予算区分: 県単

研究期間: 1982年度~

研究担当者: 遠藤美杉、藤村洋子、保倉勝己